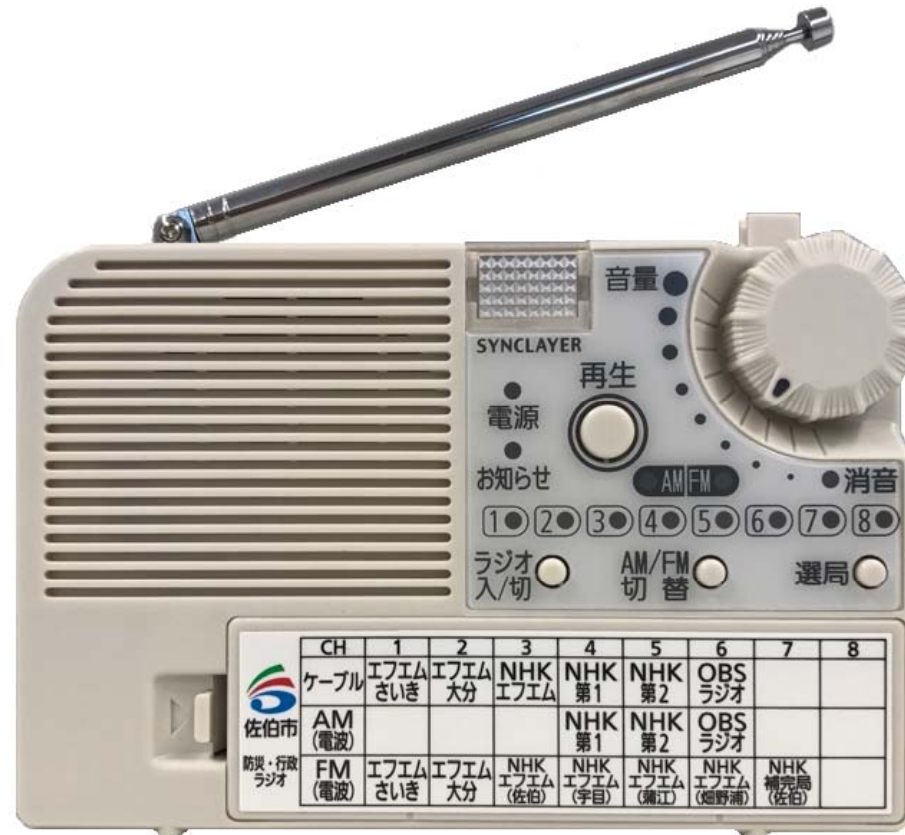


佐伯市防災・行政ラジオ取扱説明書



[お問い合わせ] 佐伯市防災危機管理課 0972-22-4578

【もくじ】

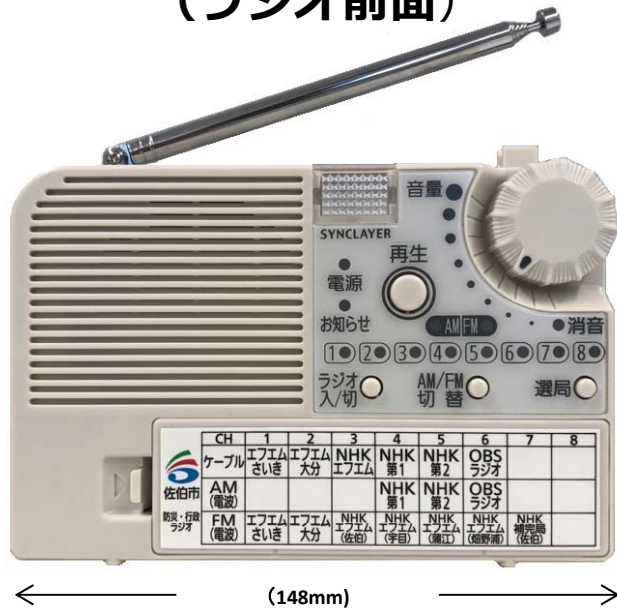
【佐伯市防災・行政ラジオとは】	．．．．．	P 1
【使用前のご確認】	．．．．．	P 2
【内容物のご確認】	．．．．．	P 3
【使用前の準備について】	．．．．．	P 4
【 重要 緊急放送や一般放送の受信について	．．．．．	P 5
【ラジオ放送（NHKや民放局）を聴くときの操作について】	．．	P 6
【録音された放送の再生について】	．．．．．	P 7
【各種ランプ動作の確認について】	．．．．．	P 8
【その他機能について】	．．．．．	P 9
【お知らせ】	．．．．．	P 10
正しくご利用いただくために必ずご確認ください。	．．．．．	P 11

【佐伯市防災・行政ラジオとは】

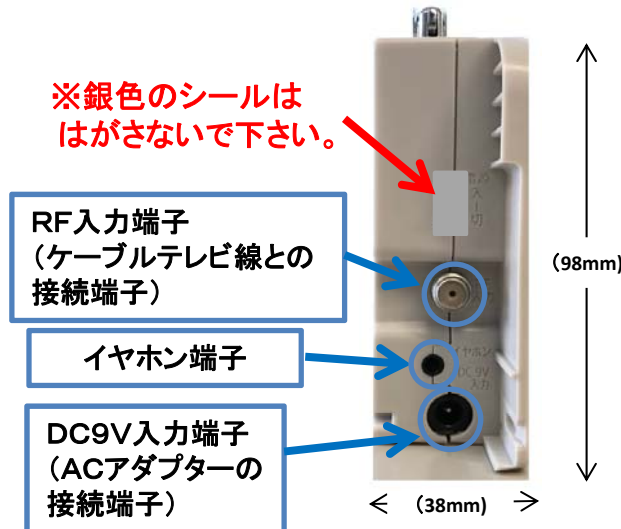
災害時等に防災スピーカーからの緊急放送を屋内でも聴くことができ、通常のラジオとしても利用できる緊急告知型のラジオ端末です。

主に緊急放送等の自動放送、自動放送の録音、停電時の電池モードへの自動切替などの機能があります。

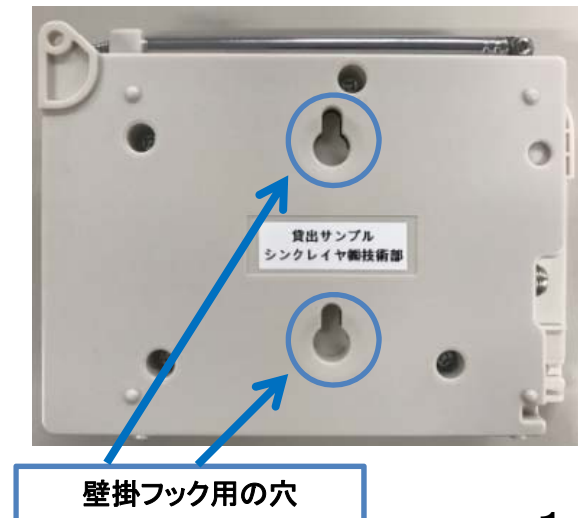
(ラジオ前面)



(ラジオ左側面)



(ラジオ背面)



【使用前のご確認】

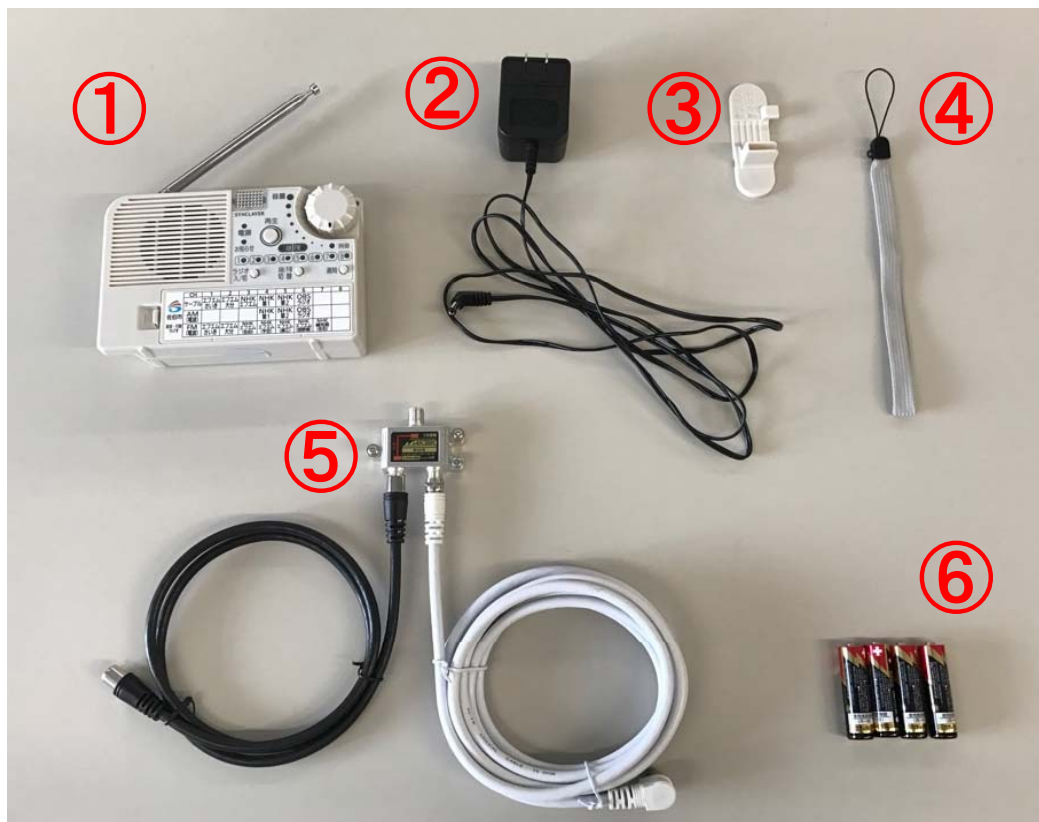
佐伯市防災・行政ラジオは、**次のどちらかの方法でご利用が可能です。**

- ①ご利用する場所でエフエムさいき（FM76.3MHz）の電波がクリアに受信できている場合
→ **アンテナ受信**によりご利用可能です。
- ②ケーブルテレビに加入している場合
（ご家庭のテレビで11CHの行政放送が視聴できている場合）
→ ケーブルテレビの線と接続すること（**ケーブル接続**）によりご利用可能です。

※佐伯市防災・行政ラジオは、エフエムさいき（76.3MHz）を利用して配信される緊急放送を自動受信、自動起動する仕組みとなっています。

※ケーブルテレビでも有線を利用して、エフエムさいきやNHK、民放ラジオ局の放送をご家庭に届けています。

【内容物のご確認】



- ①防災・行政ラジオ(本体) ②ACアダプタ ③自立スタンド ④携帯用ストラップ
⑤分岐器・同軸ケーブルセット(ケーブルテレビ接続利用時のみ貸出)
⑥単3乾電池4本 (停電時用の電池です。電池は貸出時のみ支給します)

【使用前の準備について】

- ① ACアダプタを家庭内のコンセントに差し込みます



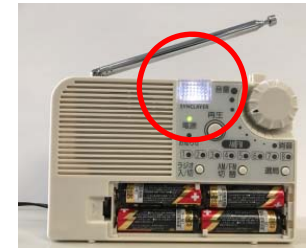
- ② ACアダプタのラジオ差込側をラジオ側面の端子に差し込みます。「電源ランプ」が黄色く点滅し「ピツ」という音の後、ラジオはスタンバイ状態となります。



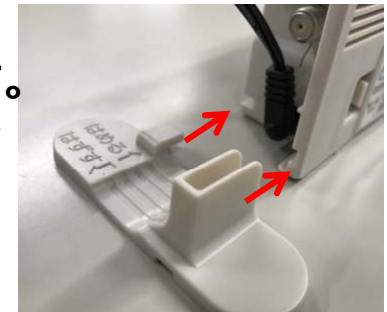
- ③ 「チャンネル表」部分が電池部のふたとなっていますので、ふたをあけて電池を入れます。ふたの左部を軽く押し手前に引っ張ることで開きます。



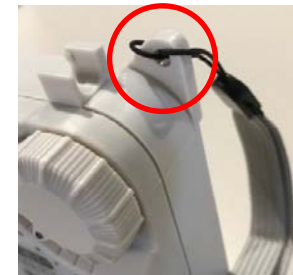
- ④ 電池をいれると**緊急・停電ランプ**が白色に点灯します。約1分で自動消灯しますが、各種ボタン操作や**音量ボリューム**を操作することで消灯します。閉じる時は右端のつめを差し込んでから閉じます。



- ⑤ 自立スタンドを設置します。転倒防止のため、壁掛けで利用する以外の場合は、取り付けて下さい。



- ⑥ 携帯用ストラップをラジオの右上部の後ろの穴に取り付けて完了です。

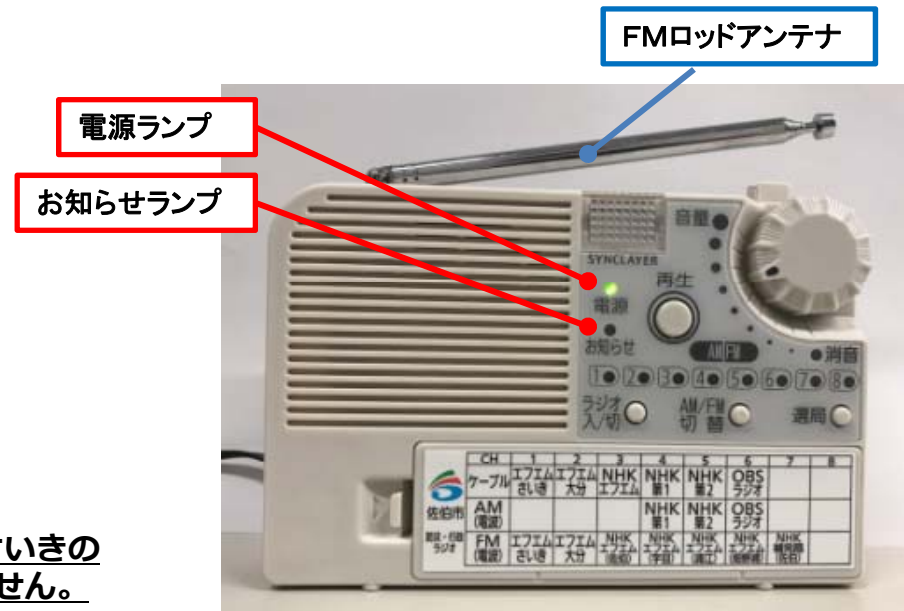


【 **重要** 緊急放送や一般放送の受信について】

- ① **電源ランプ**が点灯していることを確認して下さい。
- ② **お知らせランプ**が下記の表の通りになっているか確認して下さい。

アンテナ受信時	ゆっくりした点滅 (5秒に1回)
ケーブル受信時	消灯

※**お知らせランプ**が早い点滅(2秒に1回)の場合は、エフエムさいきの受信状況が悪い状態であり、緊急放送等を受信することができません。
FMロッドアンテナを調整して受信感度を調整してください。



以上の①と②が確認できれば、災害時にはラジオが自動起動し最大音量で緊急放送を開始します。また、ケーブル接続時のみ一般放送も自動起動し設定音量で放送を開始します。

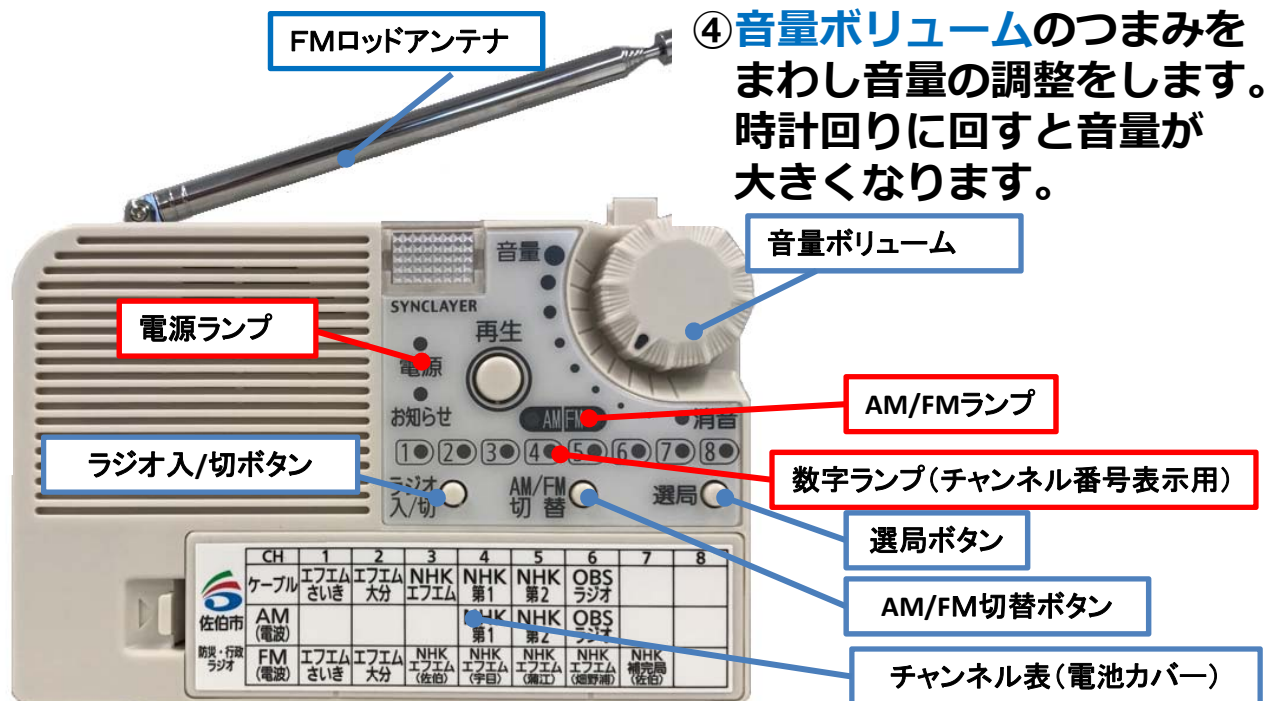
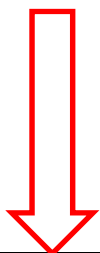
緊急放送	地震や津波に関する情報、風水害による避難勧告等に関する情報 ミサイル攻撃等の国民保護に関する情報、佐伯市民に重要であると市が判断した情報
一般放送	市役所や振興局からの緊急以外の放送、地区からの放送、火災に関する放送など(火災発生時の放送は最大音量となります) ※ケーブル接続時のみ受信可能です。 ※地区からの放送は、防災スピーカーとは同時に放送されません。

【ラジオ放送（NHKや民放局）を聴くときの操作について】

① **電源ランプ**が点灯しているか確認します。

② **ラジオ入/切ボタン**を押しスイッチをいれます。

③ チャンネル合わせについては下記の表を参考に操作して下さい。



④ **音量ボリューム**のつまみをまわし音量の調整をします。時計回りに回すと音量が大きくなります。

チャンネル合わせの方法について

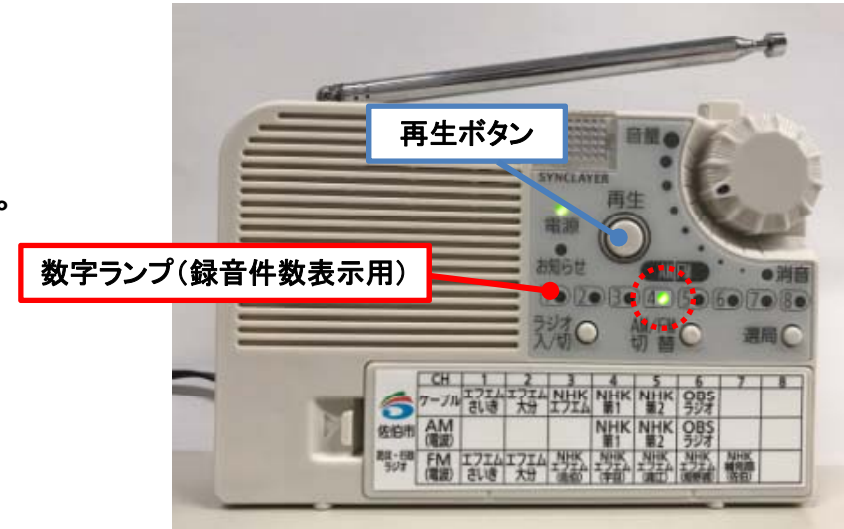
アンテナ受信で利用する場合	<p>① チャンネル表のAM(電波)又はFM(電波)と書いた行を確認のうえ、AM/FM切替ボタンを押しAM/FMランプを切り替えます。</p> <p>② 選局ボタンを押し聴きたい放送局のチャンネル表の番号に数字ランプを合わせます。</p> <p>③ FM局の受信感度はFMロッドアンテナで調整し、AM局の受信感度はラジオ本体の向きで調整します。 ※AM放送(電波)は4~6、FM放送(電波)は1~7までの間で数字ランプが切り替わります。 ※NHKエフエムの佐伯、宇目、蒲江、畑野浦はすべて同じ放送局です。 ※NHK補完局(佐伯)は、NHK第1と同じ放送局です。(NHK第1をFM波で放送しています。)</p>
ケーブルテレビ接続で利用する場合	<p>① チャンネル表のケーブルと書いた行を確認のうえ選局ボタンを押し、聴きたい放送局の番号に数字ランプを合わせます。(AM/FM切替ボタンを押す必要はありません。)</p>

【録音された放送の再生について】

- ① **数字ランプ**の1～5の数字が点滅している場合は、点滅している数字の数だけ、緊急放送や一般放送の未再生数があるということになります。

※右の写真では「4」が点滅していますので4件分の未再生の録音放送があるということです。

- ② **再生ボタン**を押すことにより録音された放送が、最近放送された順に再生されます。
- ③ 再生中に**再生ボタン**を押すと次の録音放送が再生されます。
- ④ 録音された放送のすべての再生が終わると終了します。
一度再生をすると、**数字ランプ**の点滅は消えます。



録音できる件数は2分×5件分です。

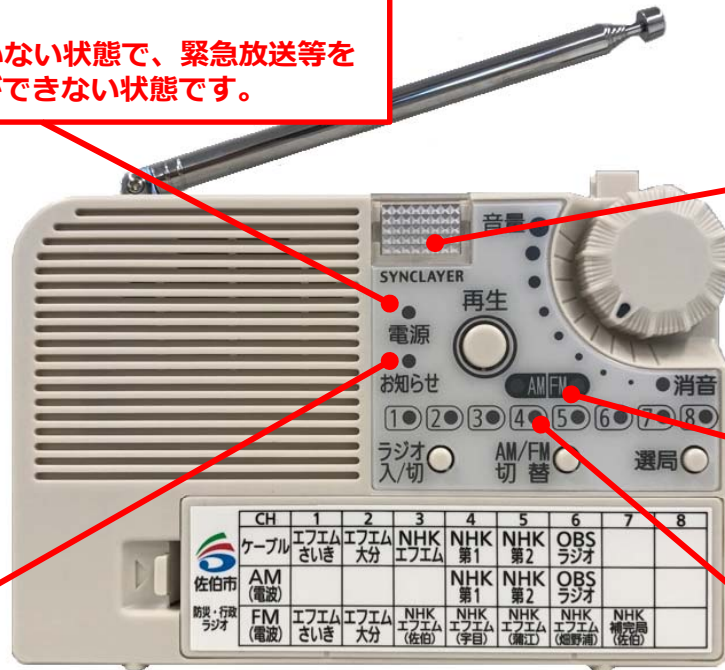
5件を越えた場合は、一番古い録音放送から自動消去されます。

【各種ランプ動作の確認について】

赤字で書いている部分は特に重要ですので必ずご確認ください。

【電源ランプ】

- ①点灯・・・電源が正しく入っている状態です。
- ②点滅・・・電池が入っていないか電池が残り少ない状態です。
- ③消灯・・・電源が入っていない状態で、緊急放送等を受信することができない状態です。



【緊急・停電ランプ】

- ①緊急放送時・・・オレンジ色のランプが点滅します。
- ②停電時・・・白色ライトが点灯します。
- ③電池交換時・・・白色ライトが点灯します。
- ④再生ボタン長押し・・・白色ライトが点灯します。
- ※②③の場合の白色ライト点灯は、音量ボリュームやボタン操作により消灯します。
- ※④の場合の白色ライト点灯は、もう一度再生ボタンを長押しすると消灯します。

【AM/FMランプ】

- ①点灯・・・今聴いている放送局のバンドを表示しています。
- ※ケーブルテレビ接続時はAMをFMに変換しているため、どのチャンネルでもFMランプが点灯します。

【お知らせランプ】

- ①点灯・・・緊急放送又は一般放送の受信中です。
 - ②点滅（約5秒に1回）・・・アンテナ受信時の正常な状態です。
 - ③点滅（約2秒に1回）・・・電波不良な状態であり、緊急放送を受信することができません。
- ※点滅時はエフエムさいきの受信状況を表示しています。
- ④消灯・・・ケーブルテレビ接続時の状態であり、正常な状態です。
- ※電源ランプが点灯していることをご確認ください。

【数字ランプ】

- ①点滅・・・点滅された放送分だけ録音未再生の放送があるというお知らせです。再生後は消灯します。
- ②点灯・・・今聴いているラジオ放送局の番号です。下のチャンネル表で確認して下さい。
- ③数字が順番に点灯・・・必要なデータの更新中です。故障ではありません。

CH	1	2	3	4	5	6	7	8
ケーブル	エフエム さいき	エフエム 大分	NHK エフエム	NHK 第1	NHK 第2	OBS ラジオ		
佐伯市 防災・行啓 ラジオ	AM (電波)			NHK 第1	NHK 第2	OBS ラジオ		
	FM (電波)	エフエム さいき	エフエム 大分	NHK エフエム (佐伯)	NHK エフエム (宇目)	NHK エフエム (瀬江)	NHK エフエム (姫野浦)	NHK 補完局 (佐伯)

【その他の機能について】

- ①停電時には、電池からの電源供給に自動で切り替わります。
復電時には、コンセントからの電源供給に自動で切り替わります。
コンセントから電源供給できている間は、電池は消耗しません。
- ②ケーブル接続時にケーブルテレビが断線した時は、アンテナ受信に自動で切り替わります。
ケーブルテレビが復旧した後は、約1分後に自動でケーブル受信に切り替わります。
- ③再生ボタンの長押しにより、緊急・停電ランプが白色に点灯します。
もう一度押すと消灯します。

※本説明書でご不明な点などありましたらラジオメーカーが作成した詳細な説明書もお渡ししていますので、ご覧ください。

【お知らせ】

- ①年に数回、防災スピーカーを利用したサイレン吹鳴等による訓練を実施していますが、防災・行政ラジオからも放送訓練を実施する場合には、事前に市報等でお知らせします。
- ②防災スピーカーからの試験放送として流れている時報のメロディーについては防災・行政ラジオからは放送されません。
- ③黙とうのサイレンについては防災・行政ラジオからは放送されません。但し、事前のアナウンスなどは放送されます。
- ④防災・行政ラジオが正常に作動するかの確認のためしばらくの間毎日15時に試験放送を行います。
受信が確認できない場合は、防災・行政ラジオが正常に受信できていない可能性がありますので、電源ランプや、お知らせランプの確認を行って下さい。

※試験放送の日時や内容は変更となる場合があります。

正しくご利用いただくために必ずご確認ください。

- ① 平常時は必ずコンセントに接続し、電源ランプが常に点灯している状態でご利用ください。

※電池のみでの使用の場合は最大で約24時間です。
但し、ラジオの利用状況により使用時間は変わります。

- ② 長時間の停電が発生した場合は、復電後は電池を新品に交換してください。

- ③ 電池の液漏れは故障の原因となりますので、1年に1度の電池交換をお願いします。

- ④ お知らせランプが早い点滅（2秒に1回）の場合は、緊急放送等が受信できない状態です。アンテナ受信の場合は、FMロッドアンテナの調整や設置場所の変更など、電波環境の改善をして下さい。ケーブルテレビ接続時の場合は同軸ケーブルが抜けていないかの確認をして下さい。

- ⑤ 以下の場合は、ラジオ他貸出機器とともに印鑑を持参の上、市役所防災危機管理課または、各振興局まで届出をして下さい。

- ・ 市外へ転出または佐伯市に居住する必要がなくなった場合
- ・ 世帯が滅失した場合又は世帯主が変更した場合
- ・ 住民票の異動に関係なく、佐伯市内の住所地に転居する場合
- ・ その他、ラジオ他貸出機器の必要がなくなった場合

※いずれの場合もラジオの電池は抜いた状態でご持参ください。

[お問い合わせ]
防災危機管理課
0972-22-4578